



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp



会長／青木 茂人 幹事／轟 修平 クラブ会報委員長／山崎 茂樹
SAA／中野 欣哉 副 SAA／若麻績信昭

第1241回例会 2013年（平成25年）3月22日（金）

奉仕を通じて平和を Peace through Service

会長挨拶 青木茂人会長

「映画の話③」

今週は邦画について話をさせていただきます。予備校、大学時代は洋画ばかりでしたが、小学校、中学のときには円谷監督の特撮物が好きでした。モスラやゴジラが印象に残っていますが、最初に見たのは東の門にあった演芸館で見た「地球防衛軍」でした。今見ればちゃちな特撮だったと思いますが、パラポラアンテナのお化けのような光線砲で宇宙怪獣を破るシーンは印象的で、子供のころはよくその漫画を描いたものでした。

中学時代は「太平洋の翼」「太平洋の嵐」等、太平洋戦争をテーマとしたものが好きでした。特に戦艦や巡洋艦が好きでプラモデルや木製のソリッドモデルを作り、今でも戦艦や巡洋艦の名前は当てられます。

昨年見た映画では高倉健の「あなたへ」、吉永小百合の「北のカナリヤ」ですが大物スターの出演にばかり比重がかかったためか、興行的にはあまりよくなかったようです。

邦画に関してはこの数年、権堂の「ロキシー」かつての相生座が特集を組み、面白い映画を見ることが出来ました。「寅さんシリーズ」は正月に毎年上映、その他昨年の「高倉健シリーズ」や、一昨年の「市川雷蔵シリーズ」がよかったです。高倉健や梅宮辰夫のやくざ物を見た後は、出てくる人は皆、右肩があがっているようでした。

市川雷蔵は円月殺法の「眠り狂四郎シリーズ」「陸軍中野学校シリーズ」もよかったですのですが、三島由紀夫の「剣」という小説を基にした映画が特に印象的でした。中学時代この映画を見た友人が、高校で剣道を始めるというので、なんとなく私も釣られて剣道班に入り、今日の居合いにつながっています。三島由紀夫が自分の出た東大剣道部をモデルにしたのだと思いますが、国分というキャプテンが、自分を信頼していた後輩に裏切られたと思い自殺をしますが、そのストイックな生き方に感動を覚えました。

皆さんも最近は映画館に行き映画を見ることは少ないと思いますが、わずか1000円で2時間たっぷり楽しめますので是非お出かけください。

清水次期地区新世代奉仕委員会 I A 委員へ委嘱状

幹事報告 轟 修平幹事

- ・29日第9回クラブ協議会開催 11:45~扇の間
- ・24日 会長エレクト研修セミナー 於：岡谷 井上会長エレクト・綿貫 PG・伊東次期委員長
- ・4月12日観桜会18:30~於：みなみ 出欠を早めをお願いします。
- ・米山歓送会にて周さん代表挨拶し信毎に掲載。

3 / 29 本日のプログラム

ゲスト卓話 赤池 健さん
(長野北東RC (株) やま)

菊池 栄助ガバナー補佐（長野 RC） ご挨拶



ガバナー補佐のクラブ訪問は今回で3回となります。まず①会員増強の必要性について。増員によりクラブ活動が活性化する。次の担い手を育成する。財政面で潤う。また女性会員は世界で17%日本は5%。純増2名目指して尽力下さい。②未来の夢計画について。③県内 RC 数は北信濃 RC が脱会につき55クラブに。などの地区の状況と先日開催の RLI セミナーのお話されました。

出席・ニコBOX報告 狩野例会運営委員長

3/22（会員58名）出席39名前々回修正出席率90.2%

ゲスト 菊池栄助ガバナー補佐（長野 RC）

小口貴久さん・高橋 敬さん

（長野市ボブスレー・リュージュパーク医科学情報スタッフ）

- ・高橋英司さん☆小口さん、今日の卓話を楽しみにしています。
- ・清水光朗さん☆小口さん、本日の卓話をお引受けいただきありがとうございます。☆しばらくお休みしている間に春になってしまいました。
- ・小林健治さん☆桜も早く咲きそうで・・・
- ・金澤哲也さん☆毎日食事ができて感謝です。

・合計 13,000円 ・累計 582,591円

講師紹介 高橋英司さん



息子の敬からリュージュの普及活動に苦勞しているとの話を常々聞いていたので本日はいい機会だと思っております。小口さんは小学5年からリュージュを始められソルトレイク、トリノ、バンクーバー、とオリンピックに出場され、現在は、ナショナルトレーニングセンター（スパイラル）で医科学情報スタッフとして選手強化にあたられています。



次男の敬は33歳。小学5年から始め、小口さんとダブルスを組んでトリノ・バンクーバーと出場。現在はナショナルチームの強化部長補佐として、および長野県の強化スタッフを兼務しています。

ゲスト卓話 小口 貴久さん

「リュージュの普及活動について」

1979年長野市生まれの小口さんは、長野冬季オリンピック開催候補地となった1988年リュージュ少年団が長野で結成された事を知り、母親の勧めで小学校5年生の頃にリュージュを始められました。



1998年長野オリンピックではリュージュ競技の前走者として参加し、自分もいつかオリンピックの舞台で選手として出たいと言う思いが強くなったそうで、信大在学中から本格的に競技を始め、2002年ソルトレイク、2006年トリノ、2010年バンクーバーと3大会連続出場を果たされました。トリノ、バンクーバーでは当クラブの高橋英司会員の次男高橋敬君と共に出場されたそうです。

リュージュには2～4人が乗る大型のソリをハンドルを使って滑走する「ボブスレー競技」、座ったままの姿勢でスタートし、仰向けに寝て、足先でソリを操作する「リュージュ競技」、うつ伏せに寝て頭から滑走する「スケルトン競技」の3種目があり、中でも小口さんのやっているリュージュは時速130km～150kmにもなるそうで、滑走の映像や転倒シーンは見ているだけでスピード感や迫力を感じました。転倒しても打撲程度で安全だと言っていました・・・？ 別次元の世界です。

世界的に競技施設が少ない中で、国際大会が開催できる長野市ボブスレー・リュージュパーク（通称スパイラル）が身近にあり、練習環境が整っているという事もあり、オリンピック出場選手の半数が長野県出身者という事ですが、オリンピック競技の中では知名度も低く、経済的にも決して恵まれた環境では無いそうで、競技以外にも地域の美化活動や青少年育成活動、被災地域の復興支援や講演活動も行って、リュージュの普及に向けた活動もされています。今後は2014年ソチ（ロシア）、2018年ピョンチャン（韓国）に向け、悲願のメダリストを輩出するべく、ジュニア育成・選手育成に取り組まれるそうで、私達も応援していきたいと感じました。

会報当番 青木 宏

例会案内

4月5日 会員卓話 粕尾 正康さん